

# 1. 評価結果概要表

作成日

平成 19 年 6 月 13 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4070801867		
法人名	有限会社 あざみ		
事業所名	グループホーム あざみ苑		
所在地	福岡市東区若宮4-2-48 〒813-0036 (電話) 092-663-8119		
評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会		
所在地	福岡市中央区荒戸3-3-39		
訪問調査日	平成19年5月30日	評価確定日	

## 【情報提供票より】(平成19年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人 常勤	5 人 非常勤	3 人 常勤換算 7.7 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り 3階建ての～ 2階部分		
------	---------------------	--	--

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無(一時金を含む)	有( 円)	有の場合償還の有無	有 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	450 円	おやつ	117 円
	または1日あたり		1,167 円程度	

### (4) 利用者の概要( 3月 1日現在)

登録人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護 1	4 名	要介護 2	3 名		
要介護 3	1 名	要介護 4	1 名		
要介護 5	名				
要支援 1	名	要支援 2	名		
年齢	平均 79 歳	最低	63 歳	最高	89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	輝栄会病院・吉田内科医院・コスモ歯科医院・ケアセンターひまわり
---------	---------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

交通量の多い幹線道路に面した場所に位置しており、1階出入り口の扉を開け放ち、エントランスホールに入居者が生けた生花を展示するなど立ち寄りやすい雰囲気作りへの工夫が見られるなど、地域に根ざしたホーム作りへの努力がうかがえる。居間や廊下などの共有スペースは、家庭的な雰囲気を損なうことなく、季節や温かさを感じさせる飾り付けがなされている。入居者と家族とのかかわりを大切に考え、月に1度は家族に訪問していただくよう働きかけている他、入居者の暮らしぶりを伝えるために、日常の写真を掲載した手書きのホーム便りを毎月作成し、送付するなどの工夫がなされている。日常のケアを振り返りながら協議を重ねるなど、入居者一人ひとりが尊厳を持って落ち着いて生活できるように一人ひとりの入居者の立場に立ってケアに取り組んでいる姿勢が感じられた。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b> 前回の外部評価結果を踏まえて、カンファレンス時に協議を行い、質の向上へ向けて取り組んでいる。その過程で、階段の明るさやエントランスホールの入りやすい雰囲気作りへの工夫、土とのふれあいと収穫を通しての精神面への働きかけなどについて話し合わせ、新たに取組まれている。
	<b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b> 職員全員で自己評価に関わることにより実際のケア内容を振り返るなど、質の向上に向けての取組みがある。
重点項目	<b>運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b> 家族、民生委員、町内会や商店会の代表、地域包括支援センターの職員の参加により2ヵ月毎の運営推進会議を開催している。運営推進会議時に、困っている点やホームとしての取組み内容などについて報告し、地域との連携に向けて積み上げを行っている。その結果、民生委員の家族会への参加や地域行事への参加など具体的な取組みへ繋がっている。
	<b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</b> 訪問時の声かけやその都度の連絡、家族に月に1度は訪問していただき、ホームや入居者を直接見て頂くなど、家族の意向を出していただくような工夫がある。家族からの意見等に対しては、検討会で対応について話しあう等、運営に反映させている。
重点項目	<b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b> 地域商店会主催の夏祭りへの参加、地域のスーパーや理美容院の利用、地域のボランティアや中学生の体験学習の受け入れなど、地域との交流の機会を積極的に捉え、常に地域とのかかわりを意識して運営に取り組んでいる。

## 2 . 調 査 報 告 ( 詳 細 )

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	地域密着型へ移行した中、改めて取り組むので なく、既にあるホーム理念実現に向けての継続 性を重視した取り組みがある。ホーム理念の中 に"社会に近い状態で生活"を掲げており、地域 のスーパーや理美容院を利用するなど地域社 会との関係性を意識してのかかわりがある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	日常のケアを通して気づいたことを職員間 で話し合ったり、困難事例の入居者とのかかわ りを通して理念に基づいた具体的なケア内容 について意見の統一を図るなどの、取り組みがあ る。		
2 地域との支え合い					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活 動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	地域商店会主催の夏祭りへの参加、地域の スーパーや理美容院の利用、地域のボランティ アや中学生の体験学習の受入れなど、地域との 交流の機会を積極的に捉え、常に地域とのかか わりを意識して運営に取り組んでいる。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	前回の外部評価結果は、何時でも閲覧できる 状態であり、家族へ配布を行うなど積極的に公 表している。外部評価結果を踏まえて、カン ファレンスで改善について協議するなど取組 みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を サービス向上に活かしている	家族、民生委員、町内会や商店会の代表、地域 包括支援センターの職員の参加により2ヵ月毎 の運営推進会議が開催されている。運営推進 会議時に、困っている点や現在の取組み内容等 について報告し、意見やアドバイスをもらうな ど、質の向上に向けて取り組んでいる。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会 議以外にも行き来する機会をつくり、市 町村とともにサービスの質の向上に取り 組んでいる	運営推進会議時に地域包括支援センターの 職員の参加があり、地域包括支援センターとの かかわりを通して行政との連携が図られてい る。また、ホームとしても運営・制度等につい てその都度行政窓口にご相談するなど、積極的 なかかわりが見られる。		
7 追加	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要 な人にはそれらを活用できるよう支援し ている	研修機会を通して職員への制度の理解を深 める取組みがある。家族に対しては、制度につ いてのパンフレットを配布し、さらに、今後利 用の可能性がありそうな家族へは個別に詳し く説明を行うなど、情報提供を行っている。		
4 理念を実践するための体制					
8 (7)	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康 状態、金銭管理、職員の異動等につい て、家族等に定期的及び個々にあわせた 報告をしている	家族訪問時の声かけやその都度の連絡、手紙 やホームたより、家族会時での説明などを通 じて日常の様子や状況を報告している。家族 に訪問していただく機会を意識して料金の支 払いはホーム窓口支払いにするなど、ホーム や入居者を直接見て頂くための働きかけが 行われている。		
9 (8)	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や 職員ならびに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている	訪問時の声かけやその都度の連絡、ホーム や入居者を直接見て頂くなどを通して、家 族の意向を出していただくような工夫があ る。家族からの意見等に対しては、検討会 で対応について話しあう等、運営に反映 させている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10 (9)	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の交代は少なく、交代時は長期研修と入居者に説明し、入居者へのダメージを抑える工夫がある。また、新しく職員が入る時は、遊びに来たと紹介し、少しずつ入居者と馴染みの関係を作るような工夫がある。		
5 人材の育成と支援					
11	19 追加	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用において、何らの制限はしておらず、再雇用制度を取り入れるなど、体力とやる気を重視しての採用である。おしゃれに興味を持つ職員に入居者のメイクを担当してもらったり、栄養士の免許をもつ職員に献立のアドバイスをもらうなど、職員の趣味や資格を活かせるような工夫がある。実際、様々な年齢層の職員が生き生きと勤務している様子が伺えた。		
12	20 追加	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	職員によっては、校区単位で行われる人権学習に個別に参加しており、日常のケアを通して言葉使い等で気付きがあれば話しあっているが、ホームとして人権尊重などに対する勉強会や講話への参加などの取り組みは行われていない。		認知症の方をケアする職員の基本的資質として人権意識が必要である。行政等で行われる人権に対する啓発研修等を通じて、職員に対する人権教育について積極的に取り組んでほしい。
13 (10)	21 (19)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修についての情報提供を行い、参加を募ったり、代表者からの指示により参加するなど、外部研修への参加機会がある。また、研修参加後は、カンファレンスにて報告を行い知識の共有に努めている。		
14 (11)	22 (20)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており、代表者や管理者レベルでの交流の機会はあるが、職員レベルでの交流はこれからである。		グループホーム協議会への加入を契機に、代表者・管理者のみでなく職員レベルでの見学や相互研修、情報交換等の機会を持ち、質の向上にむけて取り組みを期待したい。



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15 (12)	28 (26)	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者の状況把握の意味も含めて、3日～1週間ぐらいのお試し利用から初めるなど、馴染みの関係づくりへの取り組みがある。今後、条件が合えば、地域に住む認知症高齢者のデイサービスの受け入れについても検討する予定である。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16 (13)	29 (27)	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	郷土に伝わる家庭料理の作り方を教えてもらったり、歴史の好きな入居者から歴史を教わったり、短歌の作り方を教わったり、入居者にアイロンをかけていただくなど、入居者とともに支えあうような機会作りへ取り組んでいる。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
17 (14)	35 (33)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりを通して把握した思いや入居者が発した何気ない一言等についてカンファレンス時に意見を出し合い、入居者の視点に立って検討し、トータル的に一人ひとりの希望や意向を把握するための取り組みがある。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18 (15)	38 (36)	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族会開催時にチェック表を見てもらい、それぞれの家族と個別に相談しながら家族の意見の把握に努めている。本人・家族の希望や担当職員がチェック表から見つけた課題を基にカンファレンスで協議し、介護計画に反映させるなどの取り組みがある。		入居者本意の視点に立ち、入居者の暮らし方や出来る事を支える視点でのより具体的な介護計画の作成となるよう期待したい。


外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19 (16)	39 (37)	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	基本的には3ヶ月に1度、介護計画書の内容に ついて見直しを行い、6ヶ月に1度、入居者・家 族の意向や希望の確認を行っている。また、そ の都度の状態変化に合わせての見直しと再作 成がある。毎月のケアプランにて入居者の現状に 即した話し合いが行われている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
20 (17)	41 (39)	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔 軟な支援をしている	地域の方の悩みの相談に応じたり、近隣の病 院受診の付き添い、可能な範囲内でのお墓やお 寺へのお参りなど、事業所として柔軟に対応し ている。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21 (18)	45 (43)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療を受けられ るように支援している	ホーム協力医による週に1度の往診がある。 希望する医療機関への受診は、基本的には家族 で対応してもらっているが、家族対応が難しい 場合はホームにて対応するなどの支援があ る。		
22 (19)	49 (47)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や家 族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有している	看取り介護の指針を提示して家族に説明を を行い、同意書を得る際に家族の意向の確認をし ている。状況の変化に応じ、家族、主治医、ホ ーム代表者や管理者を交えた協議を行い、職員間 で共有するなどの取組みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23 (20)	52 (50)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない	入居者の好みの洋服への更衣、入居者の生活 歴を把握しての入居者にあわせた声かけなど の対応、日誌等の記録物に入居者の名前を記載 しないなど、プライバシーや個人情報に配慮し た対応が見られた。		親しみのある表現でも受止める人によっ ては乱暴と捉えられてしまう可能性があること を認識され、家庭的雰囲気を持つ中でも馴れ合 いにならない関係作りを構築していただき たい。
24 (21)	54 (52)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	入居者一人ひとりの生活リズムに配慮して、 食時にかかる時間や食べ方、居室やリビングで の過ごし方など、入居者中心の暮らしが支援さ れている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25 (22)	56 (54)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員と一緒に準備や食事、片付けを している	職員は入居者と一緒に食時をとり、食事中に 冗談が聞こえるなど、楽しい雰囲気の中での食 時風景であった。もやしの根切りや野菜をそ ろえる、料理の作り方を教わるなど、入居者の 出来る事や知識を活かすような取り組みがあ る。		
26 (23)	59 (57)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし まわずに、一人ひとりの希望やタイミ ングに合わせて、入浴を楽しめるように支 援している	週2回の入浴を基本に、入居者の希望に合わ せた対応がある。お湯は、入居者毎に入れ替え ており、好みの入浴剤の使用や好みの湯温な ど、ゆっくりと入浴出来る配慮がある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27 (24)	61 (59)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	野菜の下ごしらえ、洗濯物たたみ、洗濯物の 整理、夜間戸締りの確認、アイロンかけ、居室仏 壇へのお供えなど、その時々状況や生活歴を 把握したうえでの支援がある。		
28 (25)	63 (61)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	入居者の希望を察しての外出、日々の買い物 や散歩、気候の良い日のピクニックやドライブ など、入居者の希望やその時々にあわせての柔 軟な対応がある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29 (26)	68 (66)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	ホーム出入口の先が直ぐ階段であり、ホームは 交通量の多いバス通りに面しているため、簡易 ロックを行っている。入居者の状態のきめ細かな 把握により外出傾向を察知し、さりげない声 かけや一緒に出かけるなどの対応があり、簡 易ロックを常態化させない為の努力が見受けられ る。		建物の立地条件や構造上、非常に難しい課 題かと思われるが、今行われている努力を継 続され、簡易ロックを常態化させないよう、 今後更なる取組みを期待したい。
30 (27)	73 (71)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	入居者を交えての年2回の避難訓練が実施さ れている。避難訓練時に地域への声かけが行 われており、いざという時の協力が得られる体 制づくりに努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31 (28)	79 (77)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの 状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の資格を取得している職員から、 塩分や栄養バランス等に対するアドバイスを 受け、食事メニューに反映させている。意識的 な水分摂取への声かけや食事時の吸い物をつ けるなど、水分不足にならないような配慮があ る。		



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32 (29)	83 (81)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下に季節感を感じる飾りつけ をほどこしたり、季節の生花を生けるなど、季 節を肌で感じる工夫がある。天窓から直接差 し込む日差しを、簾や布で被い間接的に日差し が入る工夫をしたり、自然の風を取り込むな ど、居心地良く過ごすための配慮がある。		
33 (30)	85 (83)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇、寝具、箆笥、ベッド、TV、ぬい ぐるみ、生花などの馴染みの品や装飾品が持ち 込まれており、入居者の個性がうかがえる居室 であった。		

 は、重点項目。  
(数字)は、国の標準例による番号